

「情報処理」第48巻 総目次

号 頁

■巻頭

我が国の情報通信技術の強化に向けて 一會長就任にあたって一	佐々木元	6- 547
論文誌等の完全オンライン化の意義	中島秀之	12- 1315

■特集

「安全と安心のための画像処理技術」

0. 編集にあたって	前田賢一・土井美和子	1- 1
1. 危険を察知する車載画像処理技術	中井宏章・前田賢一	1- 3
2. 鉄道と乗降客の安全を確保する画像認識技術 一踏切、ホーム端からの転落防止一	依田育士	1- 10
3. 画像によるエレベータ内異常検知技術	鷺見和彦・関真規人・塩崎秀樹	1- 17
4. 画像認識を用いて安心を提供する情報セラピー	安部伸治・内海 章・桑原教彰	1- 23
5. プライバシーを考慮した映像サーベイランス	馬場口登	1- 30
6. 人物を認識することの法的問題点 一監視カメラシステムの設置運用基準一	小林正啓	1- 37

「社会の未来を拓くネットワーク情報共有空間」

0. 編集にあたって	白鳥則郎・東野輝夫・宗森 純	2- 122
1. 情報共有空間における協同	岡田謙一	2- 123
2. 情報共有空間のためのウェアラブルコンピューティング	塚本昌彦	2- 128
3. 情報共有空間のためのセンサコンピューティング	水野忠則・峰野博史	2- 135
4. 情報共有空間のためのシームレスコンピューティング	北須賀輝明・福田 晃	2- 142
5. 情報共有空間としての新しい Web の胎動	富樫 敦	2- 148
6. 情報共有空間のためのモバイルアドホックネットワーク	高橋 修	2- 154

「社会に向き合うエージェントシステム」

0. 編集にあたって	石田 亨・大沢英一・新谷虎松	3- 228
1. Web の進化とエージェント, セマンティック Web	武田英明	3- 229
2. インターネットオークションとメカニズムデザイン	横尾 真・岩崎 敦	3- 236
3. RoboCupSoccer と RoboCupRescue	野田五十樹	3- 243
4. ビデオゲームに浸透するエージェント技術	中西英之・Katherine Isbister	3- 250
5. 生命的エージェントによるインタフェース/メディア	石塚 満	3- 257
6. ユビキタス環境で活躍するエージェント	吉岡信和・本位田真一	3- 264
7. 社会シミュレーションと参加型デザイン	石田 亨・寺野隆雄・鳥居大祐・村上陽平	3- 271
8. パネル討論: エージェントの社会的インパクト	大沢英一・石田 亨・石塚 満・武田英明・寺野隆雄・本位田真一・横尾 真	3- 278

「IC タグと医療環境」

0. 編集にあたって 一IC タグの医療環境への応用一	保坂良資・白木善尚	4- 332
1. ワイヤレス情報通信としての IC タグ	保坂良資	4- 333
2. 医療情報システムと IC タグの活用	近藤克幸	4- 338
3. 病棟での個体情報管理と IC タグ	大野ゆう子・清水佐知子	4- 344
4. 手術現場での手術用器材の情報管理と IC タグ	山下和彦・岩上優美・大林俊彦・石河伸二・齋藤祐平・保坂良資・井野秀一・伊福部達	4- 349
5. 医用機器への IC タグの応用例	松田淳子・進藤亜紀子・谷 昇子・丸上輝剛・中尾寿成・吉田 靖・稲田 紘	4- 354
6. アクティブ型 IC タグの医療環境への応用 一移動方向検知無線システム一	田中雅美	4- 359
7. 医療分野における IC タグ (RFID) と国際標準化の動向	吉岡稔弘	4- 364

「地域サービスの高度化に向けて 一 SOA 活用でサービスを連携・統合一」

0. 編集にあたって	宮本大輔・安信千津子	5- 427
1. 公共サービスのあるべき姿とその実現に向けた取り組み 公共情報インフラの設計と実践	酒井雅之	5- 429
2. 複数サービスの連携システム開発における SOA デザインパターン技術	高橋規生・里 佳史・牛山克彦	5- 436
3. サイトを越えるサービス連携における認証・認可, プライバシー情報保護技術	齊藤嗣治・石井章夫	5- 448
4. サービス利用者のニーズを加味したサービス情報 (サービス運用条件等) の管理制御技術	鳥谷 明・奥平 禎・田原聡士	5- 457
5. 複数組織がかかわるビジネスプロセスを改善するためのモニタリング技術	菊地伸治・神南吉宏・屋代 聡・金井 剛・加藤光幾	5- 463

「IT フォーラムへの誘い」

1. IT フォーラムへの誘い	青山幹雄・松井くにお・徳田英幸	5- 473
2. サービスサイエンスフォーラムへの誘い 一顧客満足向上と生産性向上のバランスを目指す	諏訪良武	5- 475
3. IT アーキテクト /CIO フォーラム	榊原 彰	5- 478
4. ユーザスタディフォーラム 一人間中心イノベーションをイノベートする	田村 大・野村早恵子	5- 481
5. イノベティブ社会基盤フォーラムの取り組み 一イノベーションが育まれる環境の解析に向けて	神成淳司・許斐俊充・小野和俊	5- 484
6. Web 2.0 フォーラム 一インターネットの真のパラダイムシフト	栗原 潔	5- 487

7. 福祉情報システムフォーラム —ユニバーサルデザインの協創に向けて	榎川友宏	5- 489
8. IT ダイバーシティフォーラム	安信千津子・青山幹雄	5- 493
9. 高度 IT 人材育成フォーラム	掛下哲郎・笈 捷彦・牛島和夫	5- 496
10. イノベーションを生み出す鍵がここにある —ソフトウェアジャパン 2007 からのメッセージ	青山幹雄・松井くにお	5- 499
「非接触 IC カード技術とその展開」		
0. 編集にあたって	小池雄一	6- 550
1. 非接触 IC カード技術の概観と展望	井上創造・安浦寛人	6- 551
[2. 非接触 IC カード技術の実装例と特徴]		
1) 非接触 IC カード技術 FeliCa	松尾隆史	6- 556
2) 携帯電話と FeliCa を融合したモバイル FeliCa 技術	杉山寛和・栗田太郎	6- 561
3) 非接触と接触両用 IC カードの実装技術と適用例	島中祥子	6- 567
[3. 非接触 IC カードを利用したサービス]		
1) 交通分野における IC カードサービス	松原 広	6- 573
2) 非接触 IC カードによる金融系サービス ~ケータイクレジット「iD」~	阿佐美弘恭	6- 578
3) 小売分野における非接触 IC カードサービス	奥山祐一	6- 583
「教育用プログラミング言語と授業利用」		
0. 編集にあたって	兼宗 進	6- 588
1. 教育用プログラミング言語の動向	兼宗 進	6- 589
2. 情報教育におけるプログラミング利用の可能性	久野 靖	6- 594
3. 情報科学教育への利用	奥村晴彦	6- 598
4. 制御教育への利用	紅林秀治	6- 602
5. 情報教育における音楽の利用, 音楽教育における情報教育の利用	並木美太郎	6- 607
6. 教育用プログラミング言語を利用した教科教育と情報教育	辰己丈夫	6- 612
「情報セキュリティ研究開発の動向」		
0. 編集にあたって	村瀬一郎	7- 692
1. 情報セキュリティの研究開発の動向	徳田英幸	7- 693
2. ミクロな分析技術の動向	篠田陽一	7- 699
3. マクロな分析技術の動向	小林偉昭・寺田真敏・永安佑希允・中村章人	7- 707
4. 分析の結果に基づく対策技術の動向	門林雄基	7- 713
5. インシデント対応におけるミクロ分析とマクロ分析の融合に向けて	村瀬一郎	7- 718
6. セキュリティホールを作り込まない技術の動向	渡辺 創	7- 726
7. プライバシ保護のためのアーキテクチャ	小松文子	7- 737
8. プライバシ保護のための要素技術の動向	岡本栄司	7- 744
「情報の価値化・知識化技術の実現へ向けて」		
0. 編集にあたって	山之内徹	8- 811
1. 学術創成としての知の構造化 —東京大学工学系研究科における試み—	松本洋一郎	8- 813
2. 社会問題解決のための知の構造化	堀井秀之	8- 819
3. テキストマイニングによる潜在的知識の発見支援	小池麻子	8- 824
4. CGM マイニングと知識化	山西健司・森永 聡・松村憲和	8- 830
5. チャンス発見からバリューセンシングへ	大澤幸生	8- 837
6. オントロジーに基づく知識の構造化と活用	橋田浩一・和泉憲明	8- 843
「利用者の好みをとらえ活かす —嗜好抽出技術の最前線—」		
0. 編集にあたって	土方嘉徳	9- 956
[1. 嗜好抽出・情報推薦の基礎理論]		
1) 嗜好抽出と情報推薦技術	土方嘉徳	9- 957
2) 協調フィルタリングの課題: プライバシー, サクラ攻撃, 評価値のゆらぎ	神尾敏弘	9- 966
[2. ネットワーク上のユーザ行動に着目した嗜好抽出・情報推薦]		
1) 協調フィルタリングを用いたレコメンドサービスの導入事例と課題	市川裕介	9- 972
2) 嗜好情報に基づくニュースコンテンツの推薦とその応用 —画一的な便利さと多様な嗜好への適応—	河合由起子	9- 979
[3. 実世界上のユーザ行動に着目した嗜好抽出・情報推薦]		
1) AV 機器利用者に対する放送コンテンツの推薦	村上知子	9- 984
2) 移動端末におけるユーザの状況を考慮した嗜好抽出技術	小野智弘・本村陽一・麻生英樹	9- 989
[4. ユーザ作成のコンテンツに着目した嗜好・評判抽出]		
1) テキスト評価分析の技術とその応用	乾 孝司・奥村 学	9- 995
2) テキストを用いた評判と嗜好の分析	金山 博	9- 1001
「次世代統合シミュレーション技術」		
0. 編集にあたって	土居範久	10- 1068
1. 粒子法によるマルチフィジクスシミュレータ	越塚誠一・鈴木幸人	10- 1069
2. 医療・創薬のためのマルチスケール・マルチフィジクス心臓シミュレータ		
.....	久田俊明・杉浦清了・渡邊浩志・鷺尾 巧・岡田純一	10- 1074
3. 放射線治療の高度化のための超並列シミュレーションシステム		

..... 齋藤公明・齋藤秀敏・国枝悦夫・成田雄一郎・明上山温・藤崎達也・川瀬貴嗣・金子勝太郎・尾寄真浩・ ホサイン・デロア・平井正明・奥 洋平・田島俊樹・山極 満・甲賀ジェームズ・ティムル・エシロケポフ・ セルゲイ・ブラノフ・宮島悟史・岡崎良子・伊達広行・ケン・サザーランド・菱川良夫・村上昌雄	10- 1081
4. システムバイオロジーのためのモデリング・シミュレーション環境	櫻田剛史・松崎由理・小泉守義・冨田 勝 10- 1089
5. 数値/数式ハイブリッド計算に基づくロバスト最適化プラットフォーム —ものづくりを支える新しいシミュレーション技術を目指して—	穴井宏和 10- 1096
6. 数値シミュレーションを支える精度保証技術	大石進一・荻田武史 10- 1103
「ブロードバンド時代に臨む MPEG 標準化動向とコンテンツ管理技術」	
0. 編集にあたって	亀山 涉 10- 1112
1. コンテンツ利用の進化と MPEG 標準化	金子 格 10- 1113
2. MPEG-21, MPEG-A の概要とその目的 —マルチメディア・フレームワークとアプリケーション・フォーマット—	妹尾孝憲 10- 1118
3. MPEG-21 権利記述言語 シン・ワン・トーマス・デマルティニ・バーネイ・ラッグ・M. パラマシバン・クリス・バーラス・翻訳：亀山 涉	10- 1123
4. 「許諾コード」方式～利用許諾符号フレームワークとその体系～	中西康浩・木下信幸 10- 1128
5. 光ディスク著作権保護標準化から見た MPEG-21	伊藤 聡・加藤 拓 10- 1137
「変わりつつある情報教育」	
0. 編集にあたって	兼宗 進 11- 1180
1. 初等中等教育における情報教育	中野由章 11- 1181
2. 小学校における教育実践事例	佐藤和浩 11- 1186
3. 中学校における教育実践事例	西ヶ谷浩史 11- 1191
4. 高等学校における教育実践事例	佐藤義弘 11- 1196
5. 高等学校必修履修科目としての「情報」～普通教科「情報」はどのような経緯で作られたのか～	永野和男 11- 1201
6. 海外の情報教育の動向	李 元揆 11- 1207
7. 大学での情報入試	中森真理雄・竹田尚彦 11- 1213
8. 大学における情報教育 J07	寛 捷彦 11- 1218
「情報技術が支えるアートとコンテンツの世界 — Art with Science, Science with Art —」	
0. 編集にあたって	原島 博・土井美和子 12- 1318
1. アートを科学する —「描くこと」を中心として	藤幡正樹 12- 1319
2. 身体性メディアによるメディア芸術創造支援	渡辺富夫 12- 1327
3. メディア技術が支えるデジタルパブリックアート	廣瀬通孝 12- 1335
4. デバイスアート：インタラクティブテクノロジーの美学	岩田洋夫 12- 1343
5. 効率的アニメ制作支援のための 3 次元 CG 技術	森島繁生・安生健一・中村 哲 12- 1351
6. デザイン転写による音楽制作支援	片寄晴弘 12- 1359
7. 可視化技術で創造力を高める映画制作支援	田村秀行・柴田史久 12- 1365
8. オンラインゲームの課題とその制作支援	松原 仁 12- 1373
「女性たちが拓く IT — IT ダイバーシティフォーラムより—」	
0. 編集にあたって	安信千津子・山本里枝子 12- 1381
1. 女性の働く環境 — 30 年前の米国と今日の日本—	國井秀子 12- 1382
2. 次世代の女性技術者たちへのメッセージ	村山優子 12- 1389
3. ヒューマンインタフェース研究が与えてくれたダイバーシティ思考	土井美和子 12- 1393
4. 会社員、そして起業家、ときどき教鞭	中谷多哉子 12- 1396
5. 情報系の仕事の社会的役割を女子中高生に伝えよう —「情報科学」出張講義で考えたこと—	来住伸子 12- 1400
6. 考える、作る、売るのビジネス経験と集大成、そしてこれから	大場みち子 12- 1404
7. インターネット研究へのこだわり in 広島	前田香織 12- 1409
■講演	
IEEE-CS コンピュータ・パイオニア・アワード受賞講演	穂坂 衛 1- 48
■報告	
第 17 回全国高専プログラミングコンテスト同行の記	堀内征治 1- 43
IEEE Computer Society 60 周年記念式典報告	中島秀之 1- 47
スーパーコンピュータ SX 開発の思い出 — S. Cray 賞の受賞にあたって—	渡辺 貞 1- 50
21 世紀の企業像と学生・若手研究者への期待 DICOMO2006 パネルディスカッション 谷 公夫・中村道治・村野和雄・白鳥則郎	6- 631
「平成 18 年度論文賞の受賞論文紹介」	
• 編集にあたって	平田圭二 7- 758
• まわりみちの威力	千代英一郎 7- 759
• 研究の世界に飛び込んで	白井達也・遠藤敏夫・田浦健次朗・近山 隆 7- 760
• Q, R の次は O, そして P... ..	酒井哲也 7- 761
• Overlay Weaver ができるまで	首藤一幸 7- 762
• 匿名ユーザを失効させる別発想からのアプローチ	米沢祥子・佐古和恵 7- 763

・新たなモバイル時代のための新たなアーキテクチャを目指して	横田英俊	7- 764
・自然言語の文法記述との類推に基づく構造化文書処理技術の開発	今村 誠	7- 765
・情報科学的に美しい可視化アプローチの探求	竹島由里子・高橋成雄・藤代一成	7- 766
・CV か CG か?	町田貴史	7- 767
第17回世界コンピュータ将棋選手権報告	伊藤毅志	7- 775
ACM 国際大学対抗プログラミングコンテスト世界大会報告	笈 捷彦・丸山 宏	8- 849
第1回 UEC コンピュータ大貧民大会 (UECda-2006) の実施報告	西野哲朗	8- 884
「Cell スピードチャレンジ 2007」		
・Cell スピードチャレンジ 2007 は楽しめましたか?	吉瀬謙二	11- 1251
・Cell スピードチャレンジ 2007 規定課題参加報告	花岡俊行	11- 1254
・Cell スピードチャレンジ 2007 自由課題参加報告	柘植宗範	11- 1256

■解説

リビングから始めるユビキタス—情報家電インタフェース—	橋本政朋・泉田大宗・森 彰	1- 53
センサは Web を超える 省力化から知覚化へ	矢野和男	2- 160
製品間を横断したソフトウェア共通化技術 ~ソフトウェアプロダクトラインの最新動向~	吉村健太郎	2- 171
ストレージエリアネットワークの動向	藤田智成	4- 376
小中学生を対象としたロボット競技会と総合理科教育	山下博之	5- 502
観光情報システムの現状と展望	井出 明	6- 616
モバイル端末のためのユーザインタラクション技術 (前編) —表示対話技術—	旭 敏之・仙田修司・磯谷亮輔	6- 624
モバイル端末のためのユーザインタラクション技術 (後編) —入力対話技術—	旭 敏之・仙田修司・磯谷亮輔	7- 750
セマンティック Web と言語資源・言語技術	林 良彦	8- 857
安全・安定に寄与する鉄道情報処理技術 (前編) —制御系システム	片岡健司・明日香昌・駒谷喜代俊	8- 864
電子ペーパーが創るユビキタス社会—電子ペーパークライアントを目指して—	服部励治・井上創造	8- 873
デジタルフォレンジック~電磁的証拠の収集と分析の技術~	上原哲太郎	8- 889
大規模データ処理のための簡潔データ構造	定兼邦彦	8- 899
安全・安定に寄与する鉄道情報処理技術 (後編) —運行系システム	片岡健司・明日香昌・駒谷喜代俊	9- 1008
女性社員の活躍に向けた IT 企業の試み	菅原香代子	9- 1018
ベタスケール時代に向けたハイパフォーマンスコンピュータの動向	中川八穂子	11- 1225
Trusted Network Connect —TPM の利用管理技術の動向	上杉忠興・坪 毅・宗藤誠治・吉濱佐知子	11- 1232
欧米における HCI 教育の動向	中野有紀子・塚原 渉・中川正樹・黒須正明	11- 1242
チェッカー解明秘話	岸本章宏	11- 1257
トップエスイー:サイエンスによる知的ものづくり教育	本位田真一・糸野文洋・田原康之・鷲崎弘宣	11- 1264
HD DVD の技術	大澤英昭・勝田伸一	11- 1273
大規模データのための対話的テキストマイニング	吉田一星	12- 1413

■連載

「仮想マシン道しるべ」		
仮想マシン草創期	大町一彦	8- 903
VM (Virtual Machine: 仮想マシン) の発展	梅野英典	9- 1026
VM (Virtual Machine: 仮想マシン: 仮想計算機) のその後の発展と現状	梅野英典	10- 1142
仮想マシン技術の応用	大山恵弘	11- 1283
仮想マシンを支えるハードウェア技術 (インテル)	岩本成文	12- 1421
「グリッドと SOA からみる Web サービス標準技術」		
Web サービスの分散運用管理標準—WSDM	加藤英晴	1- 85
SOA の中核技術としての BPEL 入門 (1) BPEL はどのようにサービスを結合するか?	丸山不二夫	2- 191
SOA の中核技術としての BPEL 入門 (2) BPEL での変数の定義と代入	丸山不二夫	3- 310
SOA の中核技術としての BPEL 入門 (3) 制御構造と各種のハンドラ	丸山不二夫	4- 383
Web サービスセキュリティの最新動向—WS-Security と WS-SX (WS-SecureExchange) 関連仕様 (1)	佐藤史子	6- 646
Web サービスセキュリティの最新動向—WS-Security と WS-SX (WS-SecureExchange) 関連仕様 (2)	佐藤史子	7- 768
SOA に求められる信頼性を実現する WS-RX, WS-TX	山本展之・西山英作	8- 906
SOA の新しい標準技術としての SCA の登場	丸山不二夫・中田秀基	9- 1033
「これからの情報処理学会」		
選ばれる論文誌を目指して	平田圭二	1- 77
産学連携と情報処理学会	阿草清滋	1- 82
IT 実務者への展開—英国学会に見る産学活動とビジョンより	平川秀樹	2- 184
地方のための情報処理学会	石田 亨	2- 188
社会に存在感ある学会として—幅広い立場からの情報教育支援を—	富田悦次	3- 296
学会が社会にできること, 社会が学会にできること—多難な時代の情報処理学会のあり方	村山優子	3- 301
技術者教育評価における情報処理学会の貢献	萩原兼一	4- 394
IPSI から J をとろう	水野忠則	4- 399

学会の集合知	松井くにお	4- 404
情報処理技術者の地位の向上を目指して	旭 寛治	5- 512
通信する情報と処理する情報	中島秀之	5- 518
若手が動かす学会へ—事例研究と将来展望—	中島 浩	6- 638
社会、企業に影響ある研究を育てよう	長谷川亨	6- 642
国際担当の目から見た学会改革	安信千津子	7- 780
ディペンダブル情報社会へ	坂井修一	7- 783
実務家から見た情報処理学会	玉置政一	8- 914
バランスのとれた楕円構造を目指して	調 重俊	9- 1038
そこに情報処理学会	勝山光太郎	9- 1042
ものいふ学会へ	土井美和子	10- 1150
創立 50 周年に向けて	佐々木元	10- 1153
連載を終えて	川合 慧・前田英作	10- 1157
『情報学を創る』—科研プロジェクトがめざしたもの		
発足の経緯とその展開	安西祐一郎・安達 淳	1- 60
新しいソフトウェアの実現—科研「情報学」プロジェクト A01 柱を振り返って—	玉井哲雄・稲雅雅幸・外山芳人	1- 62
コンテンツの生産・活用に関する研究—科研「情報学」プロジェクトのコンテンツ研究を振り返って—	安達 淳・喜連川優・中川裕志	2- 177
人間の情報処理の理解とその応用に関する研究	松山隆司・佐藤洋一	3- 286
情報セキュリティに関する総合的な研究—科研「情報学」プロジェクトのセキュリティ研究を振り返って—	松本 勉	4- 368
ICT は科学の発展に役立つのか?—情報学 A05 班の挑戦—	下條真司・野崎一徳・松岡 聡	5- 521
情報化と社会制度の構築に関する研究	須藤 修・後藤玲子・田中秀幸	6- 653
特定領域研究「情報爆発 (Info-plosion)」への新展開	喜連川優	8- 917
■コラム		
「オープンソース事情」		
普及手段としての OSS プロジェクト	平林俊一	1- 74
OSS を成功させるには	ひがやすを	2- 204
自由ソフトウェア活動を続ける	g 新部 裕	3- 306
連載を終わって	大谷 真・比屋根一雄	3- 309
「研究会千夜一夜」		
データベース 2.0 あるいはデータベースシステム研究会の今	石川 博	1- 70
要求工学の勧め (ソフトウェア工学からの発信)	海谷治彦	1- 72
DPS 研究会における DPS ワークショップでの取り組み	勝本道哲	2- 200
インタフェースからインタラクションへ—ヒューマンインタフェース研究会—	中小路久美代	2- 202
コンピュータビジョンとイメージメディア (CVIM) 研究会	八木康史・斎藤英雄・谷口倫一郎	3- 304
これからもっと楽しい計算機アーキテクチャ	中村 宏	4- 390
システムソフトウェアとオペレーティングシステム研究会	加藤和彦	4- 392
表現力の向上を目指して—グラフィクスと CAD 研究会—	西田友是・齋藤 豪・柿本正憲・乃万 司	5- 528
IS 研究会の 100 回記念研究発表会を迎えるにあたり	市川照久	5- 530
コンピュータと教育研究会	中森真理雄	6- 662
人文科学とコンピュータ研究会 (CH)	相田 満	6- 664
深縁なる設計技術の革新を求めて—システム LSI 設計技術研究会—	坂主圭史	7- 786
高性能計算—システムと応用の良き仲人を目指して— (HPC 研究会)	朴 泰祐	7- 788
情報学基礎研究会	吉岡真治	8- 920
オーディオビジュアル複合情報処理研究会 (AVM) はどんな研究会?	小池 淳	8- 922
自然言語処理 (NL) 研究会	中川裕志・森 辰則	8- 924
音楽情報処理の研究を始めませんか?—音楽情報科学研究会 (SIGMUS)—	後藤真孝	9- 1046
言葉とコミュニケーションの科学技術をささえる—音声言語情報処理研究会—	武田一哉	9- 1048
プログラミング研究会	岩崎英哉	10- 1160
アルゴリズム研究会	永持 仁	10- 1162
グループウェアとネットワークサービス研究会	宗森 純	11- 1288
分散システム/インターネット運用技術研究会	藤村直美	11- 1290
「知能」の探求と社会システムへの応用—知能と複雑系研究会—	小野哲雄	12- 1432
バイオインフォマティクスへの誘い—バイオ情報学研究会—	阿久津達也	12- 1434
「標準化よもやま話」		
ビジネスと国際標準, その合意形成	廣川勝久	1- 59
大学院教育における「国際標準化戦略論」	小町祐史	2- 206
情報技術分野の標準の Web での無償公開	成田博和	3- 295
国際標準化—肌で感じる中国の台頭—	森 紘一	4- 408
規格とスクーパダイビング	柴田 彰	5- 527

国際標準化活動の光と影	小暮拓世	6- 666
研究開発と標準化	棟上昭男	7- 790
サイバーセキュリティのグローバル文化の創造または国際標準化	苗村憲司	8- 926
JTC 1/SC 7 のソフトウェア（品質）工学標準化とともに 30 余年	東 基衛	9- 1045
ISO/IEC JTC 1/SC 36/WG 2 協調学習環境の技術標準化	岡本敏雄	10- 1164
思い出のタフ・ニゴシエータ	向井幹雄	11- 1292
言葉の壁、文化の差	藤村是明	12- 1436

■委員会から

IFIP—情報処理国際連合—近況報告	中島秀之・笈 捷彦・齊藤忠夫・青山幹雄	1- 95
--------------------------	---------------------	-------

■トピックス

中学生が学会にやってきた	兼宗 進・久野 靖	7- 756
情報技術の国際標準化と日本の対応—2006 年度の ISO/IEC JTC 1 および情報規格調査会の活動—	情報規格調査会	8- 927

■書評

Tom DeMarco, Timothy Lister 編著, 児玉公信 監訳, 日本技術士会プロジェクトチーム「IT21 の会」訳 “ソフトウェアエンジニアリング論文集 80's デマルコ・セレクション”		2- 208
阿部圭一 著 “明文術 伝わる日本語の書きかた”		5- 532
矢川元基 監修/谷 啓二・奥田洋司・福井義成・上島 豊 編著 “ベタフロップス コンピューティング 地球シミュレータを原点に “和” のスパコンを求めて”		10- 1166

■追悼

名誉会員 喜安善市博士を偲ぶ	戸田 巖	2- 211
名誉会員 和田 弘博士を偲ぶ	相磯秀夫	4- 409

■ Preface

Towards the Strengthening of Information and Communications Technology in Japan	Hajime SASAKI	6- 547
Why Do We Want to Make All Journals Completely On-line?	Hideyuki NAKASHIMA	12- 1315

■ Special Features

"Image Processing Technology for Safety and Security"

Foreword	Ken-ichi MAEDA and Miwako DOI	1- 1
Image Processing Technologies for Safe Driving Assistance	Hiroaki NAKAI and Ken-ichi MAEDA	1- 3
Image Processing Technology for Advanced Safety to People in Railroad Transportation - For Railroad Crossing and Station Platform -	Ikushi YODA	1- 10
Video Analysis Technology for Elevator Cage Abnormality Detection	Kazuhiko SUMI, Makito SEKI and Hideki SHIOZAKI	1- 17
Networked Interaction Therapy which Supports Memory-Impaired People based on Image Recognition	Shinji ABE, Akira UTSUMI and Noriaki KUWAHARA	1- 23
Video Surveillance Considering Privacy	Noboru BABAGUCHI	1- 30
Legal Problems and Solutions about Network Surveillance System	Masahiro KOBAYASHI	1- 37

"Information Sharing Space that Opens the Future of IT Society"

Foreword	Norio SHIRATORI, Teruo HIGASHINO and Jun MUNEMORI	2- 122
Collaboration Support in the Information Sharing Space	Kenichi OKADA	2- 123
Wearable Computing for Information Sharing Space	Masahiko TSUKAMOTO	2- 128
Sensor Computing for Information Sharing Space	Tadanori MIZUNO and Hiroshi MINENO	2- 135
Seamless Computing for Information Sharing Space	Teruaki KITASUKA and Akira FUKUDA	2- 142
A New Movement of a Web as Information Sharing Space	Atsushi TOGASHI	2- 148
Mobile Ad hoc Networking for Information Sharing Space	Osamu TAKAHASHI	2- 154

"Agent Systems Meet Human Society"

Foreword	Toru ISHIDA, Ei-Ichi OSAWA and Toramatsu SHINTANI	3- 228
Evolution of Web, Agents, and Semantic Web	Hideaki TAKEDA	3- 229
Internet Auction and Mechanism Design	Makoto YOKOO and Atsushi IWASAKI	3- 236
RoboCupSoccer and RoboCupRescue	Itsuki NODA	3- 243
Agent Technology Embedded in Videogames	Hideyuki NAKANISHI and Katherine ISBISTER	3- 250
Lifelike Agent Interfaces and Media	Mitsuru ISHIZUKA	3- 257
Agents Meet Ubiquitous Environment	Nobukazu YOSHIOKA and Shinichi HONIDEN	3- 264
Social Simulation and Participatory Design	Toru ISHIDA, Takao TERANO, Daisuke TORII and Yohei MURAKAMI	3- 271
Panel : Social Impact of Agent Technology	Ei-Ichi OSAWA, Toru ISHIDA, Mitsuru ISHIZUKA, Hideaki TAKEDA, Takao TERANO, Shinichi HONIDEN and Makoto YOKOO	3- 278

"IC Tag in Medical Environment"

Foreword	Ryosuke HOSAKA and Yoshinao SHIRAKI	4- 332
IC Tag as Wireless Information Communication Medium	Ryosuke HOSAKA	4- 333
IC-Tags with Hospital Information System	Katsuyuki KONDOH	4- 338
RFID for the Identifier of the Person and Material in the Ward	Yuko OHNO and Sachiko SHIMIZU	4- 344
IC Tag for Information Management of Surgical Instruments on Operating Room	Kazuhiko YAMASHITA, Yumi IWAKAMI, Toshihiko OBAYASHI, Shinji ISHIKAWA, Yuhei SAITO, Ryosuke HOSAKA, Shuichi INO and Toru IFUKUBE	4- 349
Application of an RFID Tag to Medical Equipments	Atsuko MATSUDA, Akiko SHINDO, Shoko TANI, Terutaka MARUKAMI, Toshinari NAKAO, Kiyoshi YOSHIDA and Hiroshi INADA	4- 354
Application to Medical Environment of an Active IC Tag - A Study for New Movement Detection Radio System -	Masami TANAKA	4- 359
The Movement of RFID Applications in the Medical Field and ISO Standards	Toshihiro YOSHIOKA	4- 364

"Toward the Realization of High Value-added Regional Services :

Coupling and Combining Various Kinds of Services Utilizing Service-oriented Architecture Concept"

Foreword	Daisuke MIYAMOTO and Chizuko YASUNOBU	5- 427
Initiatives for Next-generation Public Services on ICT Social Design Practice with Harmonizing Institution and ICT	Masayuki SAKAI	5- 429
Applying SOA Design Patterns in Development of Service Interaction Platform Technologies	Norio TAKAHASHI, Yoshifumi SATO and Katsuhiko USHIYAMA	5- 436
Authentication, Authorization, Privacy Information Management Technology in Cross-Site Web Service Federation	Tsuguharu SAITO and Akio ISHII	5- 448
Management and Control of Service Information	Akira SHIMAYA, Tadashi OKUDAIRA and Satoshi TAHARA	5- 457

Monitoring Technologies for Improving Business Processes among Multiple Organizations Shinji KIKUCHI, Yoshihiro KANNA, Satoshi YASHIRO, Tsuyoshi KANAI and Koki KATO	5- 463
"Introduction to the IT Forum : A New Community Initiative for the IT Professionals"	
Introduction to the IT Forum : A New Community Initiative for the IT Professionals Mikio AOYAMA, Kunio MATSUI and Hideyuki TOKUDA	5- 473
Invitation to Service Science Forum	Yoshitake SUWA 5- 475
The Responsibility of the IT Architect	Akira SAKAKIBARA 5- 478
User-study Forum : Innovating Human-centric Innovation	Hiroshi TAMURA and Saeko NOMURA 5- 481
A Report from Innovative Social Infrastructure Forum - Analyzing the Environment Where Innovation Proliferates Atsushi SHINJO, Kazutoshi ONO and Toshimitsu KONOMI	5- 484
Web 2.0 - A True Paradaim Shift in The Net	Kiyoshi KURIHARA 5- 487
An Introduction of Welfare Information System Forum	Tomohiro HARAICAWA 5- 489
IT Diversity Forum	Chizuko YASUNOBU and Mikio AOYAMA 5- 493
IT Professional Development Forum	Tetsuro KAKESHITA, Katsuhiko KAKEHI and Kazuo USHIJIMA 5- 496
Key to Innovation : Messages from Software Japan 2007	Mikio AOYAMA and Kunio MATSUI 5- 499
"Contactless IC Card : Technology and Services"	
Foreword	Yuichi KOIKE 6- 550
Overview and Perspective of Contactless Smartcards	Sozo INOUE and Hiroto YASUURA 6- 551
Contactless IC Card Technology - FeliCa	Takashi MATSUO 6- 556
Mobile FeliCa Technology that Integrates FeliCa into the Cellular Phone	Hirokazu SUGIYAMA and Taro KURITA 6- 561
Implementation and Application of Contact and Contact-less Interface Smart Card	Shyoko HATANAKA 6- 567
IC Card Services of Transportation Environment	Hiroshi MATSUBARA 6- 573
Contactless IC Card Financial Services : Mobile Credit "iD"	Hiroyasu ASAMI 6- 578
Contactless IC Card Services for Retail	Yuichi OKUYAMA 6- 583
"Educational Programming Languages and their Use in Classrooms"	
Foreword	Susumu KANEMUNE 6- 588
A Trend of Educational Programming Languages	Susumu KANEMUNE 6- 589
Why Do We Need "Programming" in K12 Informatics Curriculum?	Yasushi KUNO 6- 594
Programming Languages for Education in Information and Computer Sciences	Haruhiko OKUMURA 6- 598
Application to Learn Control Programs	Shuji KUREBAYASHI 6- 602
Computer Education with Music, Music Education with Computer Education	Mitaro NAMIKI 6- 607
Educational Subjects with Computer Programming	Takeo TATSUMI 6- 612
"Trends on Information Security Research and Development"	
Foreword	Ichiro MURASE 7- 692
Trends on Information Security Research and Development	Hideyuki TOKUDA 7- 693
Microscopic Analysis of Malwares and Their Behaviors	Yoichi SHINODA 7- 699
Technical Trend of the Macro Analysis in Incident Handling Hideaki KOBAYASHI, Masato TERADA, Yukinobu NAGAYASU and Akihito NAKAMURA	7- 707
Recent Trends in Analysis-driven Countermeasure Technologies	Youki KADOBAYASHI 7- 713
Uniting the Micro Analysis and the Macro Analysis in Incident Handling	Ichiro MURASE 7- 718
Research Trends on Techniques Not to Embed Security Holes	Hajime WATANABE 7- 726
Privacy Conscious Architecture in Identity & Access Management	Ayako KOMATSU 7- 737
Recent Research of Basic Technologies for Privacy Protection	Eiji OKAMOTO 7- 744
"Toward Establishing Technologies to Extract Value and Knowledge from Information"	
Foreword	Toru YAMANOUCHI 8- 811
Knowledge Structuring as a Scientific Innovation - Trial at School of Engineering, the University of Tokyo - Yoichiro MATSUMOTO	8- 813
Knowledge Structuring for Resolution of Social Issues	Hideyuki HORII 8- 819
Text Mining : Assistance for Knowledge Discovery	Asako KOIKE 8- 824
CGM Mining and Knowledge Organization	Kenji YAMANISHI, Satoshi MORINAGA and Norikazu MATSUMURA 8- 830
Process of Chance Discovery Extended to Value Sensing	Yukio OHSAWA 8- 837
Ontology-Based Organization and Application of Knowledge	Kôiti HASIDA and Noriaki IZUMI 8- 843
"Exploiting Customer's Preference -Leading Edge of User Profiling Technique- "	
Foreword	Yoshinori HIJIKATA 9- 956
Techniques of Preference Extraction for Information Recommendation	Yoshinori HIJIKATA 9- 957
Problems for Collaborative Filtering : Privacy, Shilling Attack, and Variability of Users' Ratings	Toshihiro KAMISHIMA 9- 966
An Example of Recommendation Service Using Collaborative Filtering and Its Issues	Yusuke ICHIKAWA 9- 972
Personalized News Article Recommendation based on User's Preferences	Yukiko KAWAI 9- 979
Recommendation of Broadcast Program for Users of Audio-visuals	Tomoko MURAKAMI 9- 984
Context-aware Preference Handling Technologies on Mobile Devices	Chihiro ONO, Yoichi MOTOMURA and Hideki ASOH 9- 989
Techniques of Sentiment Analysis and their Applications	Takashi INUI and Manabu OKUMURA 9- 995

Analyze Reputation and Preference Using Text Documents	Hiroshi KANAYAMA	9- 1001
"Next-generation Integrated Simulation Technique"		
Foreword	Norihisa DOI	10- 1068
Multi-physics Simulator Using Particle Method	Seiichi KOSHIZUKA and Yukihito SUZUKI	10- 1069
Multiscale-Multiphysics Heart Simulator for Medicine and Drug Discovery	Toshiaki HISADA, Seiryu SUGIURA, Hiroshi WATANABE, Takumi WASHIO and Jun-ichi OKADA	10- 1074
Super-parallel Simulation Systems for Sophisticated Radiation Therapy	Kimiaki SAITO, Hidetoshi SAITOH, Etsuo KUNIEDA, Yuichiro NARITA, Atsushi Myojoyama, Tatsuya FUJISAKI, Takatsugu KAWASE, Katsutaro KANEKO, Masahiro OZAKI, Hossain M. DELOAR, Masaaki HIRAI, Yohei OKU, Toshiki TAJIMA, Mitsuru YAMAGIWA, James K. KOGA, Timur Zh. ESIRKEPOV, Sergei V. BULANOV, Satoshi MIYAJIMA, Yoshiko OKAZAKI, Hiroyuki DATE, Kenneth Lee SUTHERLAND, Yoshio HISHIKAWA and Masao MURAKAMI	10- 1081
Development of a Modeling and Simulation Environment for Systems Biology	Takeshi SAKURADA, Yuri MATSUZAKI, Moriyoshi KOIZUMI and Masaru TOMITA	10- 1089
A Platform for Robust Optimization Based on Symbolic-numeric Hybrid Computation	Hirokazu ANAI	10- 1096
Linear Numerical Simulation with Result Verification	Shin'ichi OISHI and Takeshi OGITA	10- 1103
"Upcoming MPEG Standard and Contents Management Technology in the Broadband Era"		
Foreword	Wataru KAMEYAMA	10- 1112
MPEG Standard and the Evolution of Content Application	Itaru KANEKO	10- 1113
MPEG-21, MPEG-A and Their Purpose - Multimedia Framework and Multimedia Application Format -	Takanori SENOH	10- 1118
The MPEG-21 Rights Expression Language	Xin WANG, Thomas DEMARTINI, Barney WRAGG, M. PARAMASIVAM, Chris BARLAS and translated by Wataru KAMEYAMA	10- 1123
Permission Code System - Usage Permission Code Framework and System Application	Yasuhiro NAKANISHI and Nobuyuki KINOSHITA	10- 1128
The Comparison of the Content Protection Standards, MPEG-21 and AAC3	Satoshi ITO and Taku KATO	10- 1137
"Trends of Informatics Education"		
Foreword	Susumu KANEMUNE	11- 1180
Informatics Education in K-12	Yoshiaki NAKANO	11- 1181
Informatics Education in an Elementary School	Kazuhiro SATO	11- 1186
Informatics Education in a Junior High School	Hirofumi NISHIGAYA	11- 1191
Informatics Education in a High School	Yoshihiro SATO	11- 1196
"Information" in High School Curriculum as a Compulsory Subject - How to Have Created New Subject "Information" in Academic High School -	Kazuo NAGANO	11- 1201
Trend of Overseas Informatics Education	Wongyu LEE	11- 1207
Computing in Entrance Examination of Universities	Mario NAKAMORI and Naohiko TAKEDA	11- 1213
Education for Informatics Major in Universities - J07 Curriculum Standard	Katsuhiko KAKEHI	11- 1218
"Art with Science, Science with Art"		
Foreword	Hiroshi HARASHIMA and Miwako DOI	12- 1318
The Scientification of Art : Based on Studies of "Drawing"	Masaki FUJIHATA	12- 1319
Support for the Creation of Digital Media Art by Embodied Media	Tomio WATANABE	12- 1327
Digital Public Art Supported by Advanced Media Technology	Michitaka HIROSE	12- 1335
Device Art : Aesthetics in Interactive Technologies	Hiroo IWATA	12- 1343
Artist-friendly 3DCG Techniques for Efficient Anime Production	Shigeo MORISHIMA, Ken ANJYO and Satoshi NAKAMURA	12- 1351
Design Reuse Technology for Music Production	Haruhiro KATAYOSE	12- 1359
Enhancing Creative Power in Filmmaking by Pre-Visualization Technology	Hideyuki TAMURA and Fumihisa SHIBATA	12- 1365
Issues and Product Supports of Online-games	Hitoshi MATSUBARA	12- 1373
"Women in IT Innovation : Messages from IT Diversity Forum"		
Foreword	Chizuko YASUNOBU and Rieko YAMAMOTO	12- 1381
Working Women Environment - The 1970's America and the 21 st Century Japan -	Hideko S. KUNII	12- 1382
A Message for Woman Researchers and Engineers in the Next Generation	Yuko MURAYAMA	12- 1389
Diversity Elevation Based on Human Interface Research	Miwako DOI	12- 1393
An Employee, an Entrepreneur, and Sometimes in a University	Takako NAKATANI	12- 1396
Promoting Jobs in Information Technology to High School and Junior High School Girls : Some Thoughts after Giving Lectures in Computer Science at High Schools	Nobuko KISHI	12- 1400
My Experience of Thinking, Developing, Selling and Earning a Ph. D., and My Next Stage	Michiko OBA	12- 1404
Sustainable Research on the Internet Technologies in Hiroshima	Kaori MAEDA	12- 1409
■ Lectures		
Manuscript of My Award Winning Speech at the Banquet	Mamoru HOSAKA	1- 48

■ Reports

A Report on 17 th 'KOSEN' Programming Contest	Seiji HORIUCHI	1- 43
Report of IEEE Computer Society 60th Anniversary Reception	Hideyuki NAKASHIMA	1- 47
Memoirs of Development of Supercomputer SX - On Receiving S. Cray Engineering Award -	Tadashi WATANABE	1- 50
21st Century Enterprise Image and Expectations for Young Researchers and Students - DICOMO2006 Panel Discussion	Kimio TANI, Michiharu NAKAMURA, Kazuo MURANO and Norio SHIRATORI	6- 631
"The Heisei 18 IPSJ Best Paper Award"		
• Foreword	Keiji HIRATA	7- 758
• Shortcut Through a Roundabout Way	Eiichiro CHISHIRO	7- 759
• Diving into the Research World	Tatsuya SHIRAI, Toshio ENDO, Kenjiro TAURA and Takashi CHIKAYAMA	7- 760
• After Q and R Comes O, then P... ..	Tetsuya SAKAI	7- 761
• Overlay Weaver : An Overlay Construction Toolkit	Kazuyuki SHUDO	7- 762
• Another Approach for a Revocation Problem in Group Signatures	Shoko YONEZAWA and Kazue SAKO	7- 763
• Toward the New Architecture for the New Mobile Era	Hidetoshi YOKOTA	7- 764
• A Structured Document Processing Method Based on Analogy with Grammar Description of Natural Language	Makoto IMAMURA	7- 765
• Quest for A True Computer Science Approach to Visualization ...	Yuriko TAKESHIMA, Shigeo TAKAHASHI and Issei FUJISHIRO	7- 766
• CV or CG ?	Takashi MACHIDA	7- 767
A Report of 17th World Computer Shogi Championship	Takeshi ITO	7- 775
Report of the 31st ACM ICPC World Finals Held in Tokyo	Katsuhiko KAKEHI and Hiroshi MARUYAMA	8- 849
Report of the First UEC Computer DAIHINMIN Championship (UECda-2006)	Tetsuro NISHINO	8- 884
"Cell Speed Challenge 2007 Contest Report"		
• Did you Enjoy the Cell Speed Challenge 2007?	Kenji KISE	11- 1251
• Cell Speed Challenge 2007 Contest Report (Compulsory Task)	Toshiyuki HANAOKA	11- 1254
• Cell Speed Challenge 2007 Contest Report (Free Task)	Munenori TSUGE	11- 1256

■ Articles

Ubiquitous Computers in Living Room - An User Interface System for Network Home Appliances -	Masatomo HASHIMOTO, Tomonori IZUMIDA and Akira MORI	1- 53
Sensors Go Beyond Web : From Labor Saving to Perception Making	Kazuo YANO	2- 160
Software Reuse Across a Product Line - Software Product Line Engineering -	Kentaro YOSHIMURA	2- 171
Storage Area Network Trends	Tomonori FUJITA	4- 376
A Robot Contest for Children and Comprehensive Science Education	Hiroyuki YAMASHITA	5- 502
The Present Situation and Desirable Future of Tourism Information System	Akira IDE	6- 616
Novel Technologies for Mobile User Interaction (1st part) Display Methods	Toshiyuki ASAHI, Shuji SENDA and Ryosuke ISOTANI	6- 624
Novel Technologies for Mobile User Interaction (2nd part) Input Methods ...	Toshiyuki ASAHI, Shuji SENDA and Ryosuke ISOTANI	7- 750
Semantic Web and Language Resources, Technologies	Yoshihiko HAYASHI	8- 857
Railway Information Technology for Safety and Stability (Part I) - Control Systems	Kenji KATAOKA, Masashi ASUKA and Kiyotoshi KOMAYA	8- 864
The Ubiquitous Society with Electronic Papers - Toward the Electronic Paper Client System -	Reiji HATTORI and Sozo INOUE	8- 873
Digital Forensics : Technologies for Acquisition and Investigation of Digital Evidence	Tetsutaro UEHARA	8- 889
Succinct Data Structures for Large-Scale Data Processing	Kunihiko SADAKANE	8- 899
Railway Information Technology for Safety and Stability (Part II) - Operation Systems	Kenji KATAOKA, Masashi ASUKA and Kiyotoshi KOMAYA	9- 1008
A Challenge to Activate Female Employees in a IT Company	Kayoko SUGAHARA	9- 1018
High Performance Computer Architecture Towards Peta-Flops Scale System Era	Yaoko NAKAGAWA	11- 1225
Trusted Network Connect - Trends in Trusted Computing Technologies	Tadaoki UESUGI, Takeshi AKUTSU, Seiji MUNETOH and Sachiko YOSHIHAMA	11- 1232
New Directions for HCI Education in US and European Countries	Yukiko, I. NAKANO, Wataru TSUKAHARA, Masaki NAKAGAWA and Masaaki KUROSU	11- 1242
Episode on Solving Checkers	Akihiro KISHIMOTO	11- 1257
TopSE : An Education Program based on Computer Science	Shinichi HONIDEN, Fumihiro KUMENO, Yasuyuki TAHARA and Hironori WASHIZAKI	11- 1264
Overview of HD DVD Technology	Hideaki OHSAWA and Sinichi KATSUDA	11- 1273
Textmining for Large-scale Data	Issei YOSHIDA	12- 1413

■ Series

"A Guide for Virtual Machine Technologies"		
Beginning of Virtual Machine	Kazuhiko OHMACHI	8- 903
Virtual Machine Development	Hidenori UMENO	9- 1026

Further Virtual Machine Development and its Present Status	Hidenori UMENO	10- 1142
Applications of Virtual Machine Technology	Yoshihiro OYAMA	11- 1283
Hardware Assisted Virtualization Technology	Narifumi IWAMOTO	12 1421
"Explanations of Web Service Standards from the Viewpoint of Grid Computing and Service Oriented Architecture"		
Web Services Distributed Management	Hideharu KATO	1- 85
Introduction to BPEL as a Core Technology of SOA - How to Composite Services in BPEL	Fujio MARUYAMA	2- 191
Introduction to BPEL as a Core Technology of SOA - Definition and Assignment of Variables in BPEL	Fujio MARUYAMA	3- 310
Introduction to BPEL as a Core Technology of SOA - Control Structure and Various Handlers	Fujio MARUYAMA	4- 383
Trends of Web Services Security (1) - WS-Security and WS-SX (WS-SecureExchange) Specifications	Fumiko SATOH	6- 646
Trends of Web Services Security (2) - WS-Security and WS-SX (WS-SecureExchange) Specifications	Fumiko SATOH	7- 768
Introduction to Web Services Reliable Exchange and Web Services Transaction	Nobuyuki YAMAMOTO and Eisaku NISHIYAMA	8- 906
Emergence of SCA as a New Standard Technology of SOA	Fujio MARUYAMA and Hidemoto NAKADA	9- 1033
"Thoughts about the Future IPSJ"		
Toward a Select Journal	Keiji HIRATA	1- 77
Toward a Society as the Realm of Industry-university Cooperation	Kiyoshi AGUSA	1- 82
Expansion for IT Practitioners - From the Activities and the Vision of the British Computer Society	Hideki HIRAKAWA	2- 184
Localization of IPSJ	Toru ISHIDA	2- 188
To Establish Our Presence in the Society - Provide Wider Support for Educational Activities in Informatics -	Etsuji TOMITA	3- 296
What IPSJ can Do to Our Society and What the Society can Do to IPSJ : How the IPSJ could Go through these Difficult Years	Yuko MURAYAMA	3- 301
Contribution of IPSJ to Accreditation for Engineering Education	Kenichi HAGIHARA	4- 394
Let's Remove 'J' from 'IPSJ'	Tadanori MIZUNO	4- 399
"Crowdsourcing" in IPSJ	Kunio MATSUI	4- 404
Aiming to Raise the Status of IT Engineers	Hiroharu ASAHI	5- 512
Information Communicated and Information Processed	Hideyuki NAKASHIMA	5- 518
Towards a Society Driving by Young Power - Case Studies and Prospects -	Hiroshi NAKASHIMA	6- 638
Inspire Researches that Influence the Society	Toru HASEGAWA	6- 642
Academic Society Transformation from Abroad	Chizuko YASUNOBU	7- 780
Toward the Society with Dependable Information Processing	Shuichi SAKAI	7- 783
IPSJ for a Businessman	Masakazu TAMAKI	8- 914
IPSJ, the True Ellipse-shaped Organization with Foci, Researchers and Practioners	Shigetoshi SHIRABE	9- 1038
Here It is IPSJ	Kotaro KATSUYAMA	9- 1042
Making a Significant Contribution with Assertiveness and High Diversity to the Dependable Society	Miwako DOI	10- 1150
Towards the 50 th Anniversary of the Information Processing Society of Japan	Hajime SASAKI	10- 1153
Concluding the Series on the Future IPSJ	Satoru KAWAI and Eisaku MAEDA	10- 1157
"Creating Informatics - What the KAKEN Project is Aming at"		
Introduction	Yuichiro ANZAI and Jun ADACHI	1- 60
New Approaches to Software Construction - In Retrospect of Kaken Project on Informatics -	Tetsuo TAMAI, Masayuki INABA and Yoshihito TOYAMA	1- 62
Research on Utilization of Digital Contents - Looking Back on the Research Activities of the Kaken Project -	Jun ADACHI, Masaru KITSUREGAWA and Hiroshi NAKAGAWA	2- 177
Understanding Human Information Processing Mechanisms and their Applications	Takashi MATSUYAMA and Yoichi SATO	3- 286
Comprehensive Research on Information Security - Looking Back on the Research Activities of the Kaken Project -	Tsutomu MATSUMOTO	4- 368
How Does ICT Affect on Progress of Science ?	Shinji SHIMOJO, Kazunori NOZAKI and Satoshi MATSUOKA	5- 521
Study on e-Society and Social Design	Osamu SUDOH, Reiko GOTOH and Hideyuki TANAKA	6- 653
Info-plosion : Cyber Infrastructure for Information Explosion Era	Masaru KITSUREGAWA	8- 917
■ Columns		
"Open Source Phenomena"		
An OSS Project as a Means for Diffusion	Shun-ichi HIRABAYASHI	1- 74
How to Success OSS Project	Yasuo HIGA	2- 204
Free Software Activities and Thoughts	Yutaka NIIBE	3- 306
Closing Remarks	Makoto OYA and Kazuo HIYANE	3- 309
"1001 SIG Nights"		
DATABASE 2.0 or the Present of Special Interest Group on Database Systems	Hiroshi ISHIKAWA	1- 70
Requirements Engineering Researches in SIGSE	Haruhiko KAIYA	1- 72
Challenge Work at the DPS Workshop	Michiaki KATSUMOTO	2- 200
From Interfaces to Interactions : An Overview of SIGHI	Kumiyo NAKAKOJI	2- 202
Recent Activity of SIG-CVIM (Computer Vision and Image Media)	Yasushi YAGI, Hideo SAITO and Rin-ichiro TANIGUCHI	3- 304
Computer Architecture Becomes More Exciting : Message from SIGARC	Hiroshi NAKAMURA	4- 390

Recent Activity of the Special Interest Group on Operating Systems and System Software	Kazuhiko KATO	4- 392
Toward Expressive Rendering - Special Interest Group for CG -	Tomoyuki NISHITA, Suguru SAITO, Masanori KAKIMOTO and Tsukasa NOMA	5- 528
In Commemoration of the IS Society of the 100th Times	Teruhisa ICHIKAWA	5- 530
Special Interest Group on Computers in Education	Mario NAKAMORI	6 662
IPJS SIG Computers and the Humanities	Mitsuru AIDA	6- 664
For The Innovations in System LSI Design - Special Interest Group on SLDM -	Keishi SAKANUSHI	7- 786
High Performance Computing - Toward a Helpful Match-maker between the System and Applications	Taisuke BOKU	7- 788
Special Interest Group on Fundamental Informatics	Masaharu YOSHIOKA	8- 920
What is the Audio Visual and Multimedia Information Processing (AVM) ?	Atsushi KOIKE	8- 922
SIGNL (Natural Language) Past and Present	Hiroshi NAKAGAWA and Tatsunori MORI	8- 924
Getting Started on Music Information Processing Research :		
An Overview of Special Interest Group on MUSic and Computer (SIGMUS)	Masataka GOTO	9- 1046
Invitation to the Spoken Language Processing Research	Kazuya TAKEDA	9- 1048
Introduction of IPSJ Special Interest Group on Programming	Hideya IWASAKI	10- 1160
Special Interest Group on ALgorithms	Hiroshi NAGAMOCHI	10- 1162
Special Interesting Group on Groupware and Network Services	Jun MUNEMORI	11- 1288
The Past, Today, and the Future in SIGDSM	Naomi FUJIMURA	11- 1290
Research on "Intelligence" and Its Application to Social Systems	Tetsuo ONO	12- 1432
An Overview of Special Interest Group on Bioinformatics (SIGBIO)	Tatsuya AKUTSU	12- 1434
"Small Talk on Standardization"		
Business and International Standards - Ways to Form Mutual Agreement	Katsuhisa HIROKAWA	1- 59
"Strategy for International Standardization" in Graduate Course of a University	Yushi KOMACHI	2- 206
International Standards Available for Free Download from the Web	Hirokazu NARITA	3- 295
International Standardization - Coming New Paradigm 'China Rising'-	Koichi MORI	4- 408
Standards Relating to SCUBA Diving	Akira SHIBATA	5- 527
An Allegory of Meeting	Takuyo KOGURE	6- 666
R&D and Standardization	Akio TOJO	7- 790
Creation of a Global Culture - or International Standardization - of Cybersecurity	Kenji NAEMURA	8- 926
More than 30 years for JTC 1/SC 7 Software (Quality) Engineering Standardization	Motoei AZUMA	9- 1045
ISO/IEC JTC 1/SC 36/WG 2 The Technology Standard of Collaborative Learning Environment	Toshio OKAMOTO	10- 1164
The Memory of a Tough Negotiator	Mikio MUKAI	11- 1292
On Culture Gap in Standardization	Koreaki FUJIMURA	12- 1436
■ Committee Reports		1-95
■ Topics		7-756, 8-927
■ Book Review		2-208, 5-532, 10-1166
■ Mourning		2-211, 4-409